

年頭のあいさつ



理事長 船越 昇

京都府シルバー連合会などの関係諸機関のご協力のお陰であると、心から感謝しています。

法人格取得を急いできました一番の理由

は、センターの地位向上にあります。会員の仕事ぶりは高く評価され、シルバーの知名度は高まってきていますが、任意団体であるがゆえに社会的信用度に限界がありました。社団法人になりますと国庫補助の直接対象団体にもなれます。

この反面、社会的責任も厳しく問われることとなります。契約高は前年比30%増

え、就業する会員数も200人を超えましたが、これからの会員増を考えると、現状で満足しているわけにはいきません。今年も就業開拓が業務面での最大の課題になります。

広報誌やチラシなどを通じたPRには引き続き力を入れていきますが、活動分野を

広げるために、福祉・家事支援サービス業に本格的に取り組もうと考えています。その第一歩としていろいろな会員講習会を計画しています。

シルバー人材センターは「自主・自立」「共働・共助」を運営理念に掲げていますように、組織運営の基本は会員の自主的行動にあります。会員の活動は、地域、職域の集まりが基本になります。会員活動の原点になる地域班、職域班を出来るだけ早く結成したいと願っています。会員のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

明けましておめでとうございます。

精華町シルバー人材センターは、いよいよ

よこの4月から社団法人として新しく出発することになりました。センター発足後わ

ずか2年余りで公益法人になれますのは、会員の皆様のご尽力で業績が順調に伸びて

いることに加えて、精華町を始め京都府

